



PRESS RELEASE

The National Ballet of Japan

新国立劇場バレエ団 ダブル・ビル

<新国立劇場バレエ団委嘱作品・世界初演>

String SAGA /

暗やみから解き放たれて

Escaping the Weight of Darkness

NATIONAL
BALLET
OF JAPAN
New National
Theatre, Tokyo

資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ

新国立劇場 制作部舞踊 広報担当 清水千奈美

Tel : 03-5352-5735 / Fax : 03-5352-5737 / e-mail : shimizu_c4725@nntt.jac.go.jp

オリジナル作品で魅せる 新国立劇場バレエ団の多彩な魅力

新国立劇場バレエ団オリジナル作品のダブル・ビルをお届けします。ひとつめは、元新国立劇場バレエ団ダンサーで現在は新進気鋭の振付家としても活躍をみせる宝満直也による新作が満を持して新国立劇場に登場。ふたつめは世界中で活躍が目覚ましいジェシカ・ラングによる『暗やみから解き放たれて』。ダンサーの身体とセットや衣裳の動きを見事に融合した作品です。新国立劇場バレエ団のために振り付けられた作品によって引き出された、カンパニーの豊かな魅力をお楽しみください。

作品解説

『String SAGA』

久石譲氏の協奏曲「Viola Saga」に乗せ、振付家・宝満直也が手がける本作は、強かでのしやかな"糸"（ダンサー）と、鮮やかで豊かな"糸"（音楽）、そしてそれぞれの"性"（Saga）が撚り合い、一枚のタペストリーが織り上がるまでの道のりを描きます。音楽・衣裳・美術・照明のすべてを日本人クリエイターが担い、日本の精神性を宿した新たな表現に挑む作品です。

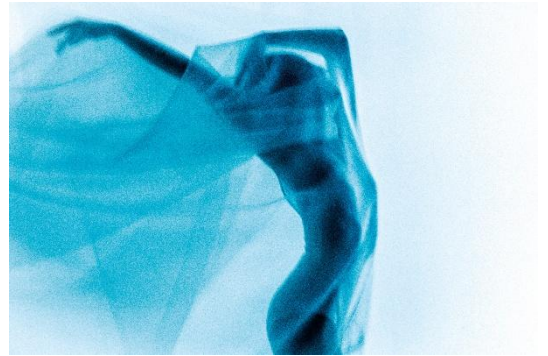


Photo: HIRO KIMURA(W)

【出演】

Twist(撚る)：五月女遥(7/3 19:00、7/4 18:00)、赤井綾乃、根岸祐衣、東 真帆(7/4 14:00、7/5 14:00)、石山 蓮、長谷川諒太、森本晃介

Tension(張る)：花形悠月、山本涼杏、上中佑樹

Intertwine(絡まる)：大木満里奈、橋本真央、仲村 啓、小川尚宏

Flick&Spin(弾く、紡ぐ)：石山 蓮、山田悠貴

Tangle (纏れる)：直塚美穂、中家正博(7/3 19:00、7/4 18:00) / 小野絢子、渡邊峻郁(7/4 14:00、7/5 14:00)

『暗やみから解き放たれて』

アメリカン・バレエ・シアター、英国ロイヤルバレエなど世界有数のバレエ団に数多くの作品を創作してきた振付家ジェシカ・ラング。2014年に新国立劇場バレエ団のために振り付けられた本作に、初演から12年を経た今、新国立劇場バレエ団ダンサーたちが新たな息吹を吹き込みます。

【振付】ジェシカ・ラング

【音楽】オーラヴル・アルナルズ、ニルス・フラーム、ジョッシュ・クレイマー、ジョン・メトカーフ

【美術】ジェシカ・ラング

(モロ制作会社ステファニー・フォーサイス、トッド・マックアレンのデザインによる装置使用)

【衣裳】山田いずみ

【照明】ニコール・ピアース

【出演】

小野絢子、米沢唯、井澤駿、速水渉悟、小野寺雄、宇賀大将
飯野萌子、吉田朱里、金城帆香 ほか (7/3 19:00、7/4 18:00)

木村優里、柴山紗帆、木下嘉人、水井駿介、森本亮介、渡邊拓朗
小田那奈、堀之内咲希、木村優子 ほか (7/4 14:00、7/5 14:00)



Photo by Takashi Shikama

『String SAGA』 振付／宝満直也 インタビュー（抜粋）

—新国立劇場バレエ団に振付家として戻ってこられましたね。いまのお気持ちをお聞かせください。

宝満 退団から約十年、いつか新国立劇場に振付家として呼ばれるようになりたいという気持ちで過ごしてきたので、今回のオファーをととても嬉しく思います。吉田都芸術監督が、日本の振付家を育てたいというスタンスでいてくださったからこそ実現したことだと思っています。

—この新作はどのようにして構想された作品なのでしょう。

宝満 まずは、音楽との出会いがありました。久石譲さんの「Viola Saga」という、2023年に東京オペラシティで初演された協奏曲です。フィリップ・グラスを敬愛されている久石さんのあの素晴らしい楽曲からは、本当にいろんな音が聞こえます。この音楽で創ろう、創るからには、いまヨーロッパの第一線で活躍している振付家の作品と並んでも恥ずかしくない作品を、と思いました。衣裳は matohu さんという和のテイストを大切にされているブランドの方、美術は数々の舞台を手がけていらっしゃる長峰麻貴さん、照明は吉本有輝子さんをお願いしました。吉本さんは、坂本龍一さんの舞台作品『TIME』の照明を手掛けられ、振付家ダミアン・ジャレの作品にも参加されている方です。



—久石さんの楽曲「Viola Saga」に敬意を払われ、作品タイトルは『String SAGA』に。"String"という言葉には、どのような思いを込められたのでしょうか。



リハーサルより 撮影：奥田祥智

宝満 「サーガ」は北欧神話の冒険譚、壮大なストーリーを彷彿とさせますが、久石さんは日本語の「性（さが）」の意味をかけていらっしゃるのと知り、惹かれました。そうして僕がモチーフにしたのは、ストリング=糸。紡績の工程には、原料から繊維を撚り出す作業があり、捻ったり引き伸ばしたりしてどんどん強度を上げていきます。それは、スタジオに、また舞台に立つダンサーたちの姿に重なります。例えば今回の出演者の一人、小野絢子さんは、ダンサーである以前に小野絢子という人です。そこに鍛錬や熱意、経験という別の糸が撚り合わさり、「ダンサーの小野絢子」になる。パートナーという別の糸が合わされば、パ・ド・ドゥが生まれる。さらに音楽という色彩が加わると、より鮮やかになり、周りのダンサーや舞台美術、お客さまとも撚り合わさって——と、可能性はどんどん広がります。ストリングスは弦楽器という意味ですから、そこも含めて、このワードを取り上げることにしたんです。

—作品はいくつかのパートで構成されるそうですが、それぞれのコンセプトについても教えてください。

宝満 Twist（撚る）、Tension（張る）、Intertwine（絡まる）、Flick&Spin（弾く、紡ぐ）、Tangle（纏れる）に最後に全員で踊る Weave（織る）が加わった6つのパートです。「撚る」は、異なる原料をより合わせて違うものを作り出すイメージ。「張る」=テンションという言葉は、バレエダンサーにとって馴染み深い言葉です。「絡まる」は身体が絡まっていく感じで、「弾く、紡ぐ」は糸車のようにスピンドルして弾ける動き、「纏れる」では、人と人との纏れ、人間関係の纏れのようなところにフォーカスします。最後の「織る」は、全員でタペストリーを織っていくイメージに。「蜘蛛の糸」や「運命の赤い糸」といった表現もあるように、お客さまは、物質としての糸から、さらにイメージネーションを広げていただけるのではないかなと思います。

—初演を楽しみにされている皆さまにメッセージをお願いします。

宝満 新国立劇場でこのような機会をいただけることは、他のクリエイターたちにとっても希望です。ダンサーとして七年間を過ごした後、新国立劇場バレエ団がどのように変化してきたかは把握してきたつもりですが、お客さまには、ダンサーたちのさらに新しい表情を観ていただけるよう、皆で創りあげていきたいと思っています。

スタッフ プロフィール

【『String SAGA』振付】宝満直也 (HOMAN Naoya)



新国立劇場バレエ研修所第5期生。2010/2011 シーズンより新国立劇場バレエ団に入団する。17年の退団まで「DANCE to the Future」では毎回作品を発表していた。「16年オン★ステージ新聞新人振付家ベスト1」選出。18年NBAバレエ団『海賊(世界初演)』、19年『白鳥の湖(世界初演)』にてそれぞれ振付を担当する。20年大和シティー・バレエにてオリジナルの全幕バレエ『美女と野獣』(主演:小野絢子、福岡雄大)を世界初演し大好評を得る。21年、Gucci 100周年記念イベント"Aria"振付、出演。22年MBS/TBS系TVアニメ「ダンス・ダンス・ダンスール」にて振付を担当。現在はフリーの振付家として活動中。令和6年度文化庁新進芸術家海外研修制度により、2025年3月から12月までドイツ、ベルリンバレエカンパニーにて研修。

【『暗やみから解き放たれて』振付】ジェシカ・ラング (Jessica LANG)



© Rosalie O'Connor

ジェシカ・ラングはニューヨークを拠点とするアメリカの演出家・振付家。現在、パシフィック・ノースウェスト・バレエのレジデント・コレオグラファー、サラソタ・バレエのアーティスト・イン・レジデンスを務めている。1999年以来、ラングは世界各地のバレエ団に100を超えるオリジナル作品を提供してきた。アメリカン・バレエ・シアター (ABT)、英国ロイヤルバレエ、バーミンガム・ロイヤル・バレエ、アルヴィン・エイリー・アメリカン・ダンス・シアター、パシフィック・ノースウェスト・バレエ、サラソタ・バレエ、新国立劇場バレエ団、ジョフリー・バレエ、そして自身のカンパニー「ジェシカ・ラング・ダンス」など、その活動は多岐にわたる。ABTとは20年以上にわたり深く関わり続けている。2011年から2019年までは「ジェシカ・ラング・ダンス」の芸術監督を務め、85都市以上を巡演。ニューヨーク・シティ・センター、NYU「Center for Ballet and the Arts」のフェローを歴任し、2019年にはプリンストン大学のCaroline Hearst レジデンス・コレオグラファーに選出。2025年にはローザンヌ国際バレエコンクール・パートナースクール振付プロジェクトの振付家を務めた。出身はペンシルベニア州バックス郡。ベンジャミン・ハーカーヴィーのもとでジュリアード音楽院を卒業。トワイラ・サープのカンパニー「THARP!」のメンバーとして世界各地で活動した経歴も持つ。

公演概要

2025/2026 シーズン

新国立劇場バレエ団 ダブル・ビル

String SAGA <新国立劇場バレエ団委嘱作品・世界初演> / 暗やみから解き放たれて

String SAGA / Escaping the Weight of Darkness

芸術監督 吉田 都

『String SAGA』

振付 宝満直也
音楽 久石 譲
美術 長峰麻貴
衣裳 matohu
照明 吉本有輝子

『暗やみから解き放たれて』

振付 ジェシカ・ラング
音楽 オーラヴル・アルナルズ、ニルス・フラーム、
ジョッシュ・クレイマー、ジョン・メトカーフ
美術 ジェシカ・ラング (モロ制作会社ステファニー・フォーサイス、
トッド・マックアレンのデザインによる装置使用)
衣裳 山田いずみ
照明 ニコール・ピアース

出演 新国立劇場バレエ団

【公演日程】

2026年7月3日（金）19:00

2026年7月4日（土）14:00 / 18:00

2026年7月5日（日）14:00 **託児**

*開場は開演30分前です。開演後のご入場は制限させていただきます。

*録音音源により上演します。

託児 託児室<キッズルーム「ドレミ」>がご利用になれます。

【会場】新国立劇場 中劇場（京王新線 新宿駅より1駅、初台駅中央口直結）

【予定上演時間】約1時間20分（休憩含む）

【ウェブサイト】<https://www.nntt.jac.go.jp/dance/stringsaga/>

【チケット料金（税込）】

席種	S席	注釈付S席	A席	Z席*
料金（税込）	7,700円	7,700円	4,400円	1,650円

※注釈付S席は、座席に列ごとの段差がございません。

・舞台を見上げる形になり、舞台後方や出演者の足元などが見えづらい席です。

・前列のお客様に隠れ、出演者の足元などが見えづらい席です。

*Z席は舞台のほとんどが見えないお席です。予めご了承ください。

※Z席は公演当日朝10:00から、新国立劇場 Web ボックスオフィスおよびセブン-イレブンの端末操作により全席先着販売いたします。1人1枚です。

※上記の方法での先着販売後、残席がある場合は開演2時間前からボックスオフィス窓口でも販売いたします。

※電話での予約は承れません。

【チケット販売】2026年5月24日（日）～好評発売中

【チケットのお求め・お問い合わせ】

<ウェブでの予約・購入（座席選択可）>

新国立劇場 Web ボックスオフィス <https://pia.jp/nntt/>

チケットぴあ <https://pia.jp/t/> 【Pコード：533-241】

イープラス <https://eplus.jp/>

ローソンチケット <https://l-tike.com/> 【Lコード：34177】

<電話での予約・購入>

新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999（10:00～18:00）

【割引等のご案内】

高齢者割引（65歳以上）、学生割引、ジュニア割引（中学生以下）、当日学生割引、当日学生割引、障がい者割引、U25 優待チケットなど各種割引あり

お申し込みの際に、割引をご利用の旨お知らせください。（Z席は対象外）